



平安製作所

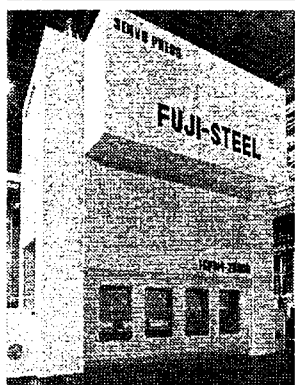
難形状・高精度加工に対応

2000トサーボプレス導入

平安製作所(滋賀県高島市、高橋鉄次社長、0740・27・1271)は、本社工場に加圧能力2000トのサーボプレス機

(写真)を導入した。投資額は6億5000万円。同社は生産コストの安い新興国に対抗して現状比30%の製造コスト低減が可能な生産体制の構

築に取り組んでいる。他にも工場内のレイアウト改善や他社との協業などで、日本国内での競争力を高める。導入したサーボプレス



機は富士スチール工業製。これまでの同社の最大のプレス機は加圧能力1500トだった。新プ

イブ状の加工と自社の溶接技術を組み合わせ、付加価値を高める考えた。

レスの導入で難しい形状や高精度な加工にいつでも対応する。工程短縮などにもつながる。加えて工場内の溶接組み立てラインを省人化し、切削加工ラインは無人数化することで効率的な生産体制を整えた。

同社は自動車のエンジン部品やトランスミッション部品を主に手がける。新工法の開発を積極的に進め、日本国内の自動車メーカーに採用されできた。今後は同社では難しい加工が得意な他社と組み、たとえば細いパイプ状の加工と自社の溶接技術を組み合わせ、付加価値を高める考えた。

中堅・中小・ベンチャー